

# 海にひろがる 夢・みらい



海の日

地球の表面積の7割を占める海。

四面を海に囲まれた海洋国日本は、はるかな昔から、外国からの文化の伝来をはじめ、人の往来や物の輸送、産業や生活などあらゆる分野にわたり、さまざまな海の恩恵を受けてきました。

私たち日本人の生活は、海や船とのかかわりを抜きにしては成り立ちません。

さらに、近年、海洋資源の開発や海洋環境保全への関心が一層高まっています。

私たちの未来を考えると、

人類の貴重な財産である「海」をあらためて見直そうではありませんか。

公益財団法人日本海事広報協会は、  
一人でも多くの皆様に「海」の恩恵に感謝する心を育てていただくように、  
「海」に関するさまざまな広報活動を行っています。



みんなで

# 海

を考え

に親しみ

を大切にしましょう

## 公益財団法人 日本海事広報協会

### ●法人概要●

設立 昭和38年12月5日

所在地 東京都中央区湊2丁目12番6号 湊SYビル 〒104-0043

TEL.03-3552-5031 FAX.03-3553-6580

<http://www.kaijipr.or.jp>

(公社) 北海道海事広報協会	北海道小樽市港町4-4 小樽港湾センター	TEL.0134-22-2060	FAX.0134-22-2060
(公社) 東北海事広報協会	宮城県塩竈市港町1-4-1 マリンゲート塩釜	TEL.022-362-4524	FAX.022-362-4524
(公社) 北陸信越海事広報協会	新潟県新潟市中央区万代島9-1 佐渡汽船(株)内	TEL.025-247-4799	FAX.025-247-4799
(公社) 関東海事広報協会	神奈川県横浜市中区海岸通4-23 相模ビル	TEL.045-201-6575	FAX.045-201-6578
(公社) 中部海事広報協会	愛知県名古屋港区入船2-2-14 藤洋ビル	TEL.052-652-4039	FAX.052-355-6070
(公社) 近畿海事広報協会	大阪府大阪市港区築港3-7-15 港振興ビル	TEL.06-6573-6387	FAX.06-4394-8090
(公社) 神戸海事広報協会	兵庫県神戸市中央区波止場町5-4 中突堤中央ビル	TEL.078-392-3248	FAX.078-392-3249
(公社) 中国海事広報協会	広島県広島市南区宇品海岸1-13-13 宇品港湾ビル	TEL.082-253-1987	FAX.082-253-1997
(公社) 四国海事広報協会	香川県高松市藤塚町3-14-6 高木ビル	TEL.087-833-8677	FAX.087-833-8550
(公社) 九州海事広報協会	福岡県北九州市門司区本町1-5 Port Moji 壱番館	TEL.093-321-7021	FAX.093-321-7022
(公社) 沖縄海事広報協会	沖縄県那覇市泊3-1-8	TEL.098-863-4604	FAX.098-862-4666

## 「海の日」 広報事業

### ● 「海の日」 各種広報

国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会や「海の月間」推進委員会の事務局として、ポスターの制作・配布や「海の日」パブリシティ活動を行っています。



### ● 海フェスタ

全国の主要港湾都市持ち回りで実施する「海フェスタ」開催に参画。船や港の重要性、海の楽しさなどを市民にアピールする「海フェスタ」には、毎年皇族のご臨席をいただき、地方自治体等と連携して開催しています。

### ● 「海の日」の旗の掲揚推進運動・

#### ビーチウォーク&クリーンアップ大作戦

「海の日」の旗の掲揚を推奨したり、全国各地の地方自治体やボランティアに呼び掛けて、「海の日」を中心に全国の海岸で一斉美化運動を実施。海洋環境保全の大切さを訴えています。

海の日とは・・・  
海の恩恵に感謝するとともに  
海洋国日本の繁栄を願う日です

#### 〈 制定の経緯 〉

- |                  |   |
|------------------|---|
| 昭和 16 年 6 月 5 日  | ● 次官会議で「海の記念日」7月20日制定<br>(明治天皇が明治9年東北巡幸の帰途、灯台視察船「明治丸」で横浜にご安着された日に由来します) |
| 昭和 34 年 7 月 20 日 | ● 海事関係5団体によって海の日協会を設立   |
| 昭和 48 年 7 月 20 日 | ● 海の旬間(7月20日～31日)を設け、広報活動を開始  |
| 平成 3 年 7 月 20 日  | ● 日本船主協会根本二郎会長が祝日「海の日」制定を提唱   |
| 平成 3 年 11 月 14 日 | ● 国民の祝日「海の日」制定推進会議(議長・日本海事広報協会永井典彦会長)が発足                                |
| 平成 7 年 2 月 28 日  | ● 国会で「海の日」を祝日とする「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法案」可決<br>(施行は平成8年1月1日)              |
| 平成 8 年 7 月 20 日  | ● 初めての国民の祝日「海の日」に、皇太子殿下同妃殿下ご臨席のもと「海の日」制定記念式典(主催・国民の祝日「海の日」を祝う実行委員会)を開催  |
| 平成 13 年 6 月 20 日 | ● 国民の祝日に関する法律の一部改正により、平成15年から「海の日」が7月第3月曜日に変更                           |
| 平成 15 年          | ● 海の日月間(7月1日～7月31日)を設ける   |
| 平成 27 年 7 月 20 日 | ● 20回目の国民の祝日「海の日」を迎えた   |

## 海事知識啓発事業

### ● 船との出会い事業

海洋や海事産業に対する青少年の関心を高めることを目的とした、海事教育や乗船体験、海事施設見学などを全国各地で実施。また、海事関係団体が実施している乗船体験、造船所等の海事施設見学会などの情報をとりまとめ、ホームページ等で広く広報します。

### ● ジュニア・ SHIPPING ・ ジャーナリスト賞

小中高校生を対象に、船、海運、造船、港湾などに関する調査・取材活動などを新聞形式で募集し、優秀作品をジュニア・ SHIPPING ・ ジャーナリスト賞をして表彰。最優秀作品には、国土交通大臣賞が送られます。



### ● 海と船の雑誌「LA MER」

広く一般の人々に海や船の大切さ、外航・内航海運などの海事産業の重要性を知っていただくことを目的に発行している隔月刊誌です。海運、造船、港湾から、船旅、マリンレジャー、海洋環境問題、海の民族など、海に関する話題を幅広く掲載しています。



### ● 海事資料 (パンフレット)

#### 「日本の海運 SHIPPING NOW」

広く一般向けに、日本海運の現況を、写真や図表を用いてわかりやすく解説するとともに、海運に関するデータを収録したパンフレットです。

### ● その他

#### 小学校における副教材等による海事教育の推進

海事都市において、海事産業の役割の大切さを盛り込んだ小学校の社会科等の副教材・ワークブック・指導書を、現場教師の参画を得て制作。授業等での活用を促しています。

#### 「海と船」と遊ぼう!」 出展事業

海・船、これらの仕事や海上安全等について、遊びと学びを融合させた内容でイベントに出展し、幼児や児童とその保護者に「海と船」への関心を高めていただきます。

#### 海事情報の提供

海事広報ホームページ、「海事FAX短信」による情報発信や、海や船にかかわる写真の提供、貸出などを行っています。

## 出版事業

### ● 新聞

#### 「海上の友」

船員とその家族をめぐるさまざまな動きを報道する旬刊紙です。留守を守る船員家庭に「お父さんの仕事のいま」を伝え、船員とその家族、日本の海運を応援しています。



#### 「Journal for all the Mariners」

日本商船隊乗組みの外国人船員向けの月刊の英字版海事情報紙です。

### ● 世界の帆船カレンダー

帆船の雄大で美しい写真を大きく使用した7枚綴りのカレンダー。A2判壁掛けタイプなので、迫力ある写真が楽しめます。

